

JOBURG EXPRESS

3月 発行 No.14

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

もう一か所、隣国のレント王国を訪ねました。その2

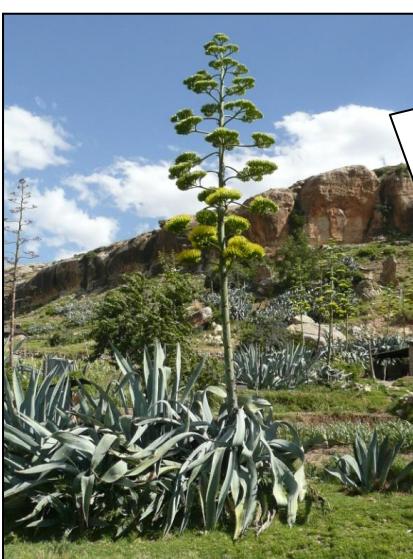


宿泊したピツエンゲという町の中心街。国境からは1時間半、首都のマセルまでは2時間の距離。



Aloes Guest House というところに泊りました。名前の由来はこのスパイラル・アロエ。庭にたくさん植えてありましたが、こんなのが初めて見た私はその螺旋の正確さにビックリ。自然ってすごいです。

本当は有名な Sani Pass の頂上のロッジに泊ろうと思い、現地の旅行業者にコンタクト。すると“お前、四駆持ってるか？普通の車じゃ登れないぞ”。…じゃ、どこかいい宿ないの？と聞いて教えてもらったのがここ。きれいで安い。シャワーもたっぷり。



これも初めて見たアロエの木(?)。アロエの葉の中央からニヨキリと生えてる。花がついてるらしい。不思議。





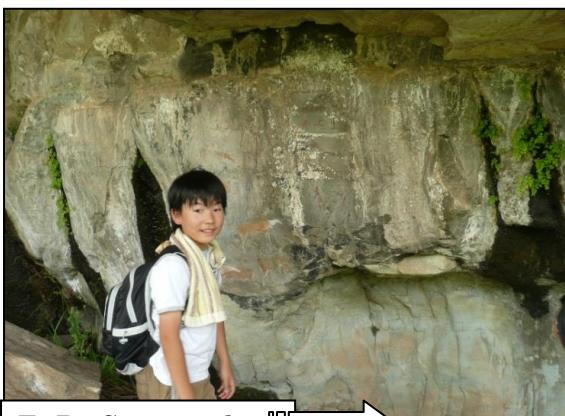
マセルにも行きました。
スワジランドの首都・ムババーネに比べても、落ち着いた雰囲気でした。

夏なのになんで毛皮の帽子？？ 最初に訪ねた『Basotho Cultural Village』でかぶらせてもらった『酋長の印』だという毛皮の帽子がえらく気に行った2人の子ども。マセルの路上で売っているのを発見しておねだりするので、お土産として買ってやりました。

峠をいくつも越えましたが、どんな険しい斜面にも牛追いの人々が生活をしていました。鞍なしの乗馬です。



マセルからピツエングまで、まつすぐ戻るのはつまらなかつたので、敢えて山越えルートを選択。未舗装・急こう配・真つ暗闇の峠道でした。それでも家があり、人が住んでいました。



To Be Continued! →



南ア側に戻り、ドラケンスバーグの山でトレッキング。ブッシュマンペイントを見たり川遊びしたり、子どもは大喜び。